

令和5年度 二セコ町環境白書

はじめに



二セコ町では、環境を取り巻く社会情勢が大きく変化していく中、環境分野における今後の取組を適切に進めていくために、「第3次 二セコ町環境基本計画」を策定しました。

環境白書では、上記の計画で示す「生活環境分野」、「自然環境分野」、「脱炭素分野」、「環境教育・情報分野」の4つの分野について、現状や取組状況などを整理しています。

第3次 二セコ町環境基本計画
はこちらからご覧になれます➡



生活環境分野

【方向性】

水環境をはじめ、大気・騒音・振動・悪臭や、廃棄物など、日常生活に関わる生活環境を良好に維持していく取組を進めます。

また、本町の特徴である自然豊かなまちなみ景観を守るために、自然景観の保全や環境美化の推進など、自然と調和した生活環境の形成に取り組めます。



自然環境分野

【方向性】

尻別川や羊蹄山をはじめとした、本町を支える豊かな自然環境を守り、将来まで引き継いでいくために、生物多様性や水と緑の保全に取り組めます。

また、これらの自然環境資源を地域産業や環境学習・活動などで有効活用することで、適切な維持・管理に取り組めます。



脱炭素分野

【方向性】

脱炭素社会の実現に向けて、省エネルギー化と再生可能エネルギーの活用に取り組むとともに、交通や都市構造などまち自体の脱炭素化に取り組めます。

また、今後避けることのできない気候変動の影響を見据えて、異常気象などに対応できる行政体制や、強靱なまちづくりに取り組めます。



環境教育・情報分野

【方向性】

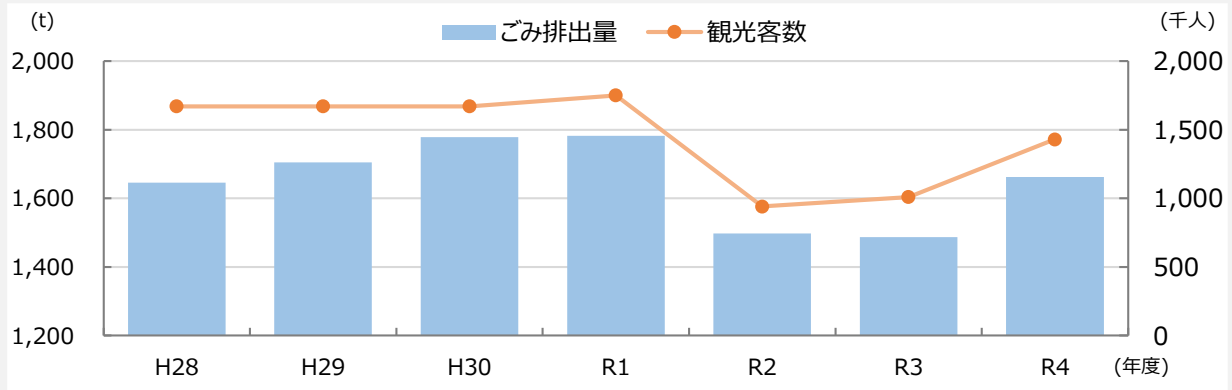
町民が環境に興味を持ち、環境配慮への意識を高められるように、子どもから大人までの全ての世代に向けて、環境教育・環境学習の機会の充実に取り組めます。

また、本町の環境に関する情報を分かりやすく整理・発信するなど、町民が必要な時に必要な情報を容易に入手できる環境づくりに取り組めます。



ごみの発生量

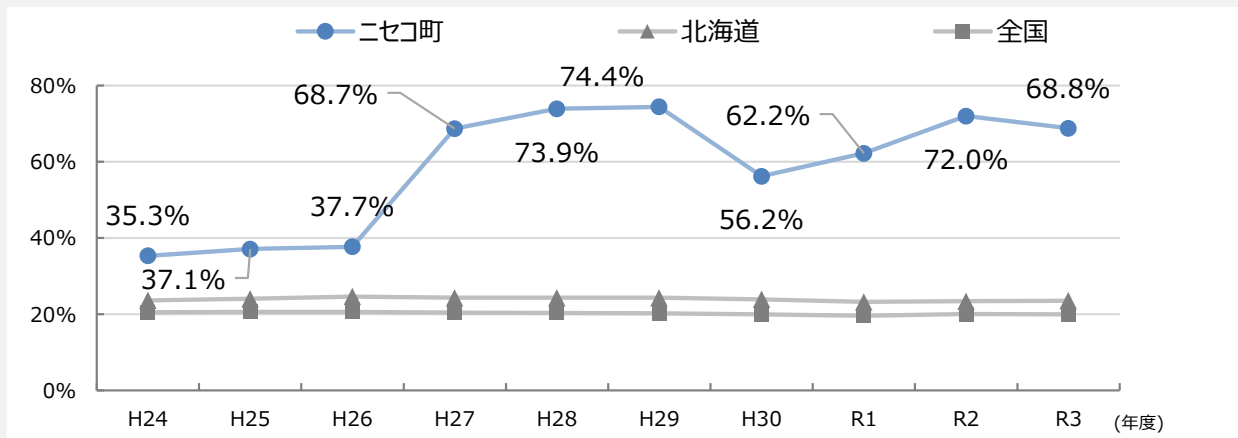
ごみの発生量は増加傾向にあり、新型コロナウイルスの影響が収まりつつある今、再びごみの発生量の増加が懸念されます。



出典：ニセコ町

リサイクル率

RDFや堆肥の製造により、リサイクル率は高い状況となっています。



出典：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）

【主な取組】

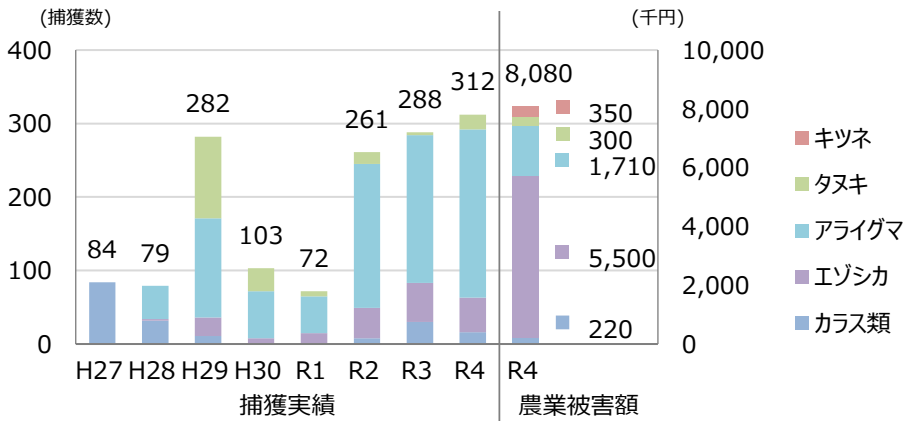
- ごみの分別について、広報誌・町ホームページ、アプリなどで普及啓発を行っています。
- 町内巡回や、ごみ拾い活動を行っています。
- 資源ごみの無料回収（白色トレイ、プラスチック製容器包装）を行っています。



出典：ニセコ町

野生動物

野生動物の増加に比例して農業被害も増加しています。令和4年度の農業被害では、エゾシカによる被害が最も多くなっています。



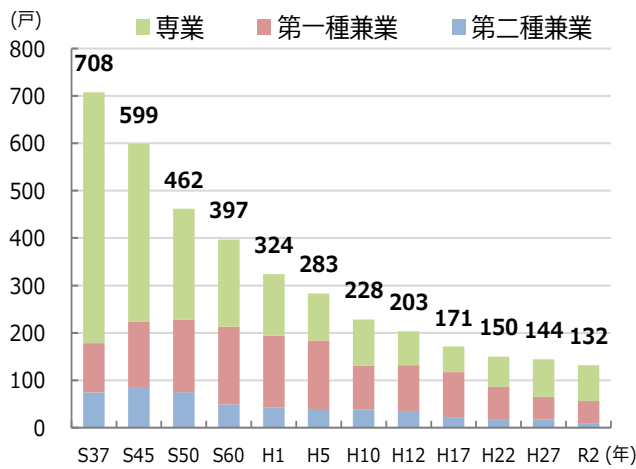
【主な取組】

有害鳥獣被害防止対策支援事業による捕獲・駆除を実施しています。

出典：ニセコ町（捕獲実績）
ニセコ町鳥獣被害防止計画（農業被害額）

農家数

農家数は減少傾向となっており、後継者不足による農地の荒廃や農村景観の悪化が深刻化しています。



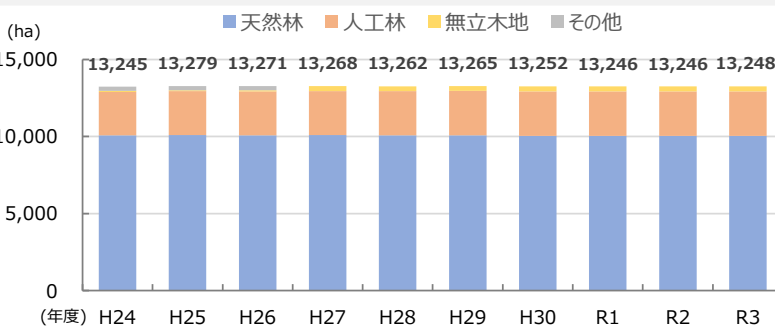
【主な取組】

農地パトロールなどで不耕作地の実態調査を行っています。また、新規就農者の受入れの強化を行っています。

出典：世界農林業センサス

森林面積

森林面積は概ね横ばいで推移しています。



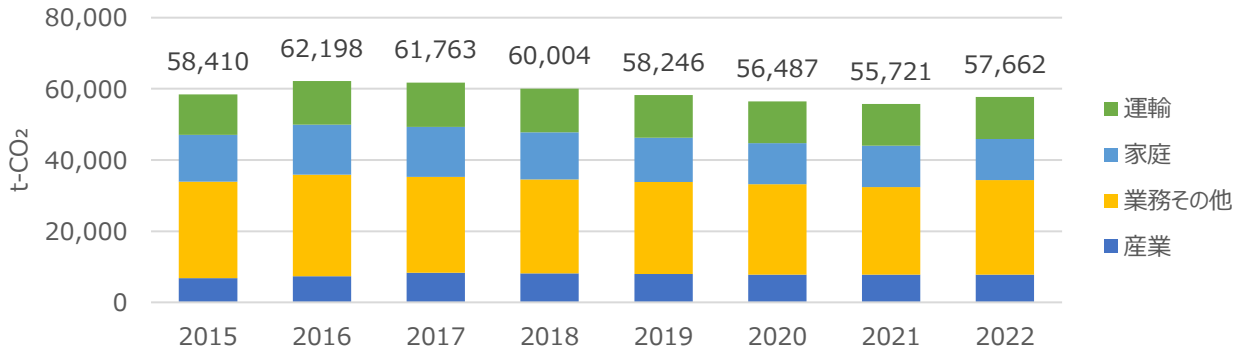
【主な取組】

ニセコ町森林整備計画に基づく天然林の管理、人工林の育林を行っています。

出典：北海道林業統計（北海道）

温室効果ガス
排出量

現在、世界的に温室効果ガス排出量の大幅な削減が求められています。ニセコ町では、排出量の約半分が業務その他部門であり、今後も施設需要が見込まれることから、排出量は当面、増加すると予測されます。



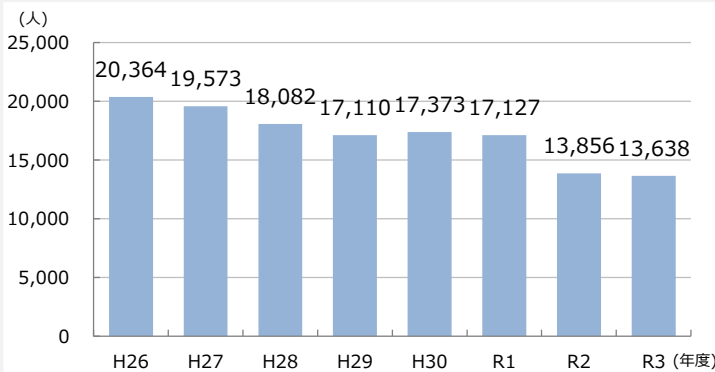
出典：ニセコ町脱炭素アクションプラン

【主な取組】

ニセコ町では、2050年に温室効果ガス排出量を実質0とする「ニセコ町非常事態宣言（ゼロカーボンシティ）」を宣言し、その実現に向けた計画などを策定しています。

公共交通

にこっとBUS（デマンドバス）の利用者数が減少傾向にあります。



出典：ニセコ町

【主な取組】

ニセコ町では、町内での移動手段を確保し、みなさまの利便性を向上させるべく、にこっとBUS（利用者の予約に対応して、自宅等から町内の目的地まで運行する形態のバス）を運行しています。

環境関連講座・イベント

【主な取組】

町民が環境に興味を持ち、環境配慮への意識を高められるように、環境に関する講座、地域の自然環境とふれあうイベントなどを実施しています。

第218回まちづくり町民講座

申込不要
参加無料

世界での気候変動の議論と 地域での脱炭素の取組

今回の町民講座では、アラブ首長国連邦で開催されたCOP28（第28回国連気候変動枠組条約締約国会議）にも参加されている藤野純一氏を講師に招き、COP28での議論や今回初めて採択されたグローバル・ストックテイク（GST）についてわかりやすく紹介いたします。

また、「環境モデル都市」「バイオマス産業都市」「脱炭素先行地域」に選定されている岡山県西粟倉村役場より上山参事をお招きし、「百年の森林」など村の取組を紹介していただきます。

<p>講師</p>  <p>Fujino Junichi 藤野 純一 地球環境戦略研究機関 (IGES) 上席研究員</p>	<p>講師</p>  <p>Ueyama Takahiro 上山 隆浩 岡山県西粟倉村役場 地方創生特任参事</p>
---	---

開催日時 1/25(木) 16:00～17:30
町民センター2F 研修室1

ニセコ町役場 企画環境課
電話番号：0136-44-2121
メール：kankyo-e@town.niseko.lg.jp
担当：環境モデル都市推進係 長谷部・永澤

ZERO CARBON HOKKAIDO

